



2025 年度
Tutorial English
履修ガイド
〈東京音楽大学〉

・パソコンの推奨環境を確認してください

授業では履修者専用サイト Tutorial Canvas や LANGX Speaking を利用します。
利用するパソコンが以下の推奨環境を満たしていることを確認してください。

注意事項

- ・利用サイトにより推奨環境が異なります。
- ・推奨環境範囲内であっても、ご自身のパソコンの設定によっては音声途切れるなど、正常なサービスを提供できないことがあります。
- ・パソコントラブルを含む個別の事由によるテスト受験期間の延長・再受験は、原則として行いません。
受験期間になったら早めに受験を開始し、ご不明点等については早めに問い合わせてください。

* 推奨環境 (2025年3月17日時点)

※ブラウザは常に最新の環境下で使用してください。

パソコン	ブラウザ	Tutorial Canvas	LANGX Speaking
Windows	Microsoft Edge	左記のブラウザの最新バージョンをご利用ください	○
	Google Chrome		○
Macintosh	Safari		×
	Google Chrome		○

・ 開講日程や締切日を確認してください

Tutorial English の開講日程や、裏表紙の授業カレンダーをよく確認してください。

2025 年度 Tutorial English 開講日程

※学期ごとにテキストを 2 冊ずつ使います。1 冊のテキストにつき Unit 10 までであるため、学期ごとに 20 Unit ずつ学習します。

学期	日程	行事
春学期	3/27-4/1	LANGX Speaking (事前測定) 受験日
	4/4	クラス指定(曜日時限のみ) 発表予定 (UNIPA)
	4/21 夕刻	Tutorial Canvas オープン 履修レベル等発表予定日
	4/28-7/17	授業期間
	7/17-7/21	LANGX Speaking (成果測定) 受験期間
	7/17-7/25	授業アンケート回答期間
	7/24	授業評価 問合せ期限 特別配慮の書類 提出期限

学期	日程	行事
秋学期	9/1-9/5	LANGX Speaking (事前測定) 受験日
	9/19 夕刻	Tutorial Canvas オープン
	9/25-12/18	授業期間
	12/18-12/23	LANGX Speaking (成果測定) 受験期間
	12/18-12/25	授業アンケート回答期間
	12/22	授業評価 問合せ期限 特別配慮の書類 提出期限

・ 単位修得に伴う注意点

Tutorial English は、週 2 回の授業に出席するだけでは、評価ポイントが足りず、単位を修得できません。

単位取得に向け、出席以外で、特に注意を払っていただきたい事項は、次の 2 つです。

◎Preparation Unit 1～Unit 10 の授業前に取り組むべき予習課題
※1学期計 20 Unit 分の Preparation は評価の 3 割を占めます。

◎Test Unit Test Unit (Unit 5 と Unit 10) は配点が大きいので忘れず出席
※1学期計 4 回の Test Unit のうち、3 回欠席すると単位を修得できません。
成績評価方法について P.23 よく確認してください。

目 次

1. Tutorial English とは	
1.1 特長.....	P4
1.2 全体の流れ.....	P4
1.3 レベルと授業の到達目標	P5
1.4 Tutorial Canvas 利用ガイド.....	P6
1.5 履修レベル・教室情報の確認(Tutorial Canvas).....	P9
2. 授業開始まで	
2.1 LANGX Speaking 受験(事前測定)	P10
2.2 履修クラスの確認	P10
2.3 テキスト購入	P11
3. 授業期間中	
Step 1 Preparation(予習)	P13
Step 2 授業.....	P16
Step 3 授業評価確認	P17
Step 4 Final Review Sheet 確認(テキスト 1 冊目).....	P19
4. 授業期間後	
Step 1 LANGX Speaking(成果測定)受験.....	P20
Step 2 授業アンケート回答【B または D のみ】.....	P20
Step 3 Final Review Sheet 確認(テキスト 2 冊目).....	P20
5. LANGX Speaking 受験ガイド.....	P21
6. 成績評価	
6.1 成績評価方法.....	P23
6.2 遅刻・早退・欠席の扱い.....	P24
6.3 出欠席・成績評価上の特別配慮(公欠)について.....	P25
6.4 休講・補講について	P25
6.5 再履修について.....	P25
授業評価ガイドライン	P26
7. 授業に関する相談・お問い合わせ.....	P28
Tutorial English 授業 Calendar 2025	巻末

1. Tutorial English とは

1.1 特長

Tutorial English は、英語コミュニケーション能力の向上を目的とし、スピーキングに焦点を当てた授業です。以下の特長があります。

● 4人1組の少人数制授業

チューター(講師)1名につき履修者最大4名のクラスで、週2回授業を行います。
スピーキング中心のプログラムのため、短期間で英語のコミュニケーション能力が向上します。

● きめ細かなレベル別クラス編成

授業期間前に受験する LANGX Speaking(双方向なやり取りの能力を中心とした英語スピーキング能力を測るテスト)の結果を用い、細かなクラス分けを行い、ご自身の英語力に適したクラスで履修することができます。

Basic~Advanced まで4レベルあり、ご自身にあったレベルから連続して履修することで確実にステップアップすることができます。

● 独自に開発したテキストの使用

本科目のために開発された専用のテキスト『Talk』を使用します。各ユニットに設定された Can-do という学習目標を中心に、実際のコミュニケーションに役立つ表現力と語彙力を鍛えます。

● 履修者専用サイト『Tutorial Canvas』を利用

Tutorial English 専用の Tutorial Canvas を利用します。Preparation の解答提出やチューターからの評価やコメントの確認も、この Tutorial Canvas を通じて行います。

- ・本科目は担当教員のアドバイスのもと、チューターが授業を担当します。
- ・本科目は東京音楽大学が(株)早稲田大学アカデミックソリューションに運営を委託しています。

1.2 全体の流れ



1.3 レベルと授業の到達目標

履修者の英語力に合わせて履修できるよう4レベルが設置されています。

※春学期に履修できる最もレベルの高い授業はUpper Intermediateです。(Advancedは秋学期のみ開講のため)

※対象者が3名に満たない場合、Advanced、Upper Intermediateは開講されません。

レベル	レベル目安		授業の到達目標	特にお勧めの対象者
	TOEFL iBT (スピーキング)	TOEIC S&W (スピーキング)		
Advanced	25 以上	180 以上	見聞きした内容のほとんどを容易に理解し、論理的に整理しながら、些細な言葉のニュアンスの違いを使い分け、非常に流暢かつ正確に伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のニュアンスの違いや含意を把握し、英語でより自然に話せるようになりたい方
Upper Intermediate	20-24	160-179	広範で複雑な話題についても内容を正しく理解し、目的に合った適切な言葉を使用し、流暢かつ論理的に自分の考えを述べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自然に話せるようになりたい方 一般的なトピックについては自然なコミュニケーションを取ることができ、複雑な話題になると、論理的に話すことが難しいと感じる方 留学後も英語力を維持したい方 グローバルに活躍できる英語力を身につけたい方
Intermediate	16-19	120-159	抽象的な事柄や複雑な話題にも対応できるような表現力を身につけ、自身の意見を述べる際に、長所と短所を交えて説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> どんな話題にも対応できる英語力を身につけたい方 ディスカッションの基礎を学びたい方 長期留学を予定している方 グローバルに活躍できる英語力を身につけたい方
Basic	15 以下	119 以下	日常生活での身近な事柄について、自身の意見とその理由を簡単に説明し、短いやりとりができる。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎から英語を学びたい方 簡単な受け答えは出来るが、英語での会話が続かない方 短期留学や海外旅行の前に英語に慣れておきたい方

1.4 Tutorial Canvas 利用ガイド

◆ログイン方法

Tutorial Canvas	https://canvas.w-as.bownet.cloud/login/canvas
ログイン ID	“T”(大文字)+学籍番号を半角で入力してください。“- (ハイフン)”は不要です。 例) 20××-3●●の場合 → T20××3●● と入力
パスワード	“T”(大文字)+自分の生年月日の数字8桁を半角で入力してください。 例) 20××年4月1日生まれの場合→T20××0401

- ① Tutorial Canvas へアクセスし、User ID 及び Password を入力してログインする(図 1)
- ② Tutorial Canvas(図 2)の「Dashboard」から現在受講している科目を選択。
- ③ ログインが完了したら、セキュリティ対策のため、パスワードの変更をしてください(P.8 参照)。

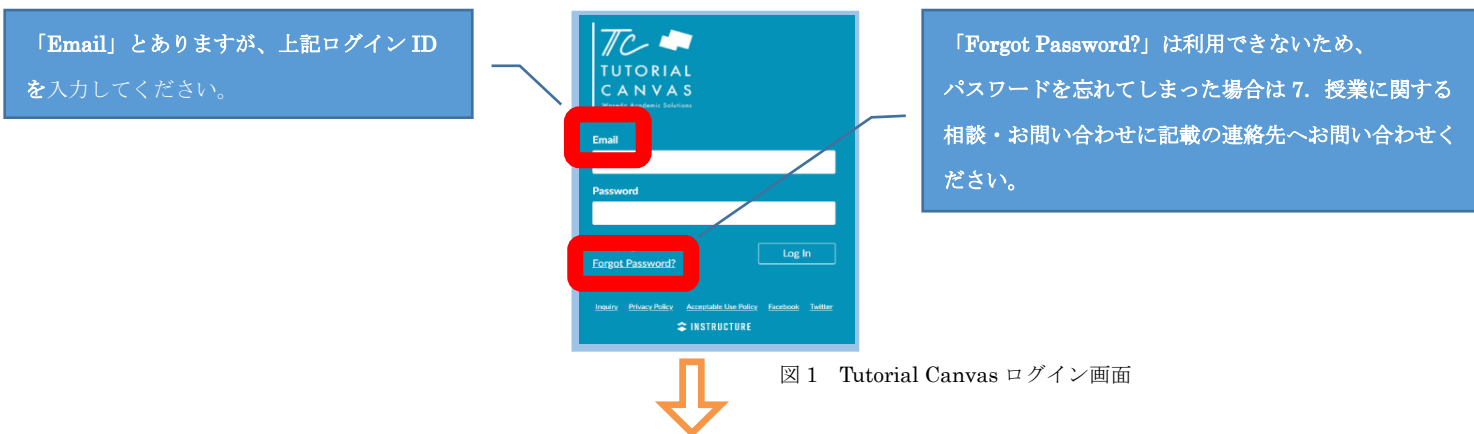


図 1 Tutorial Canvas ログイン画面

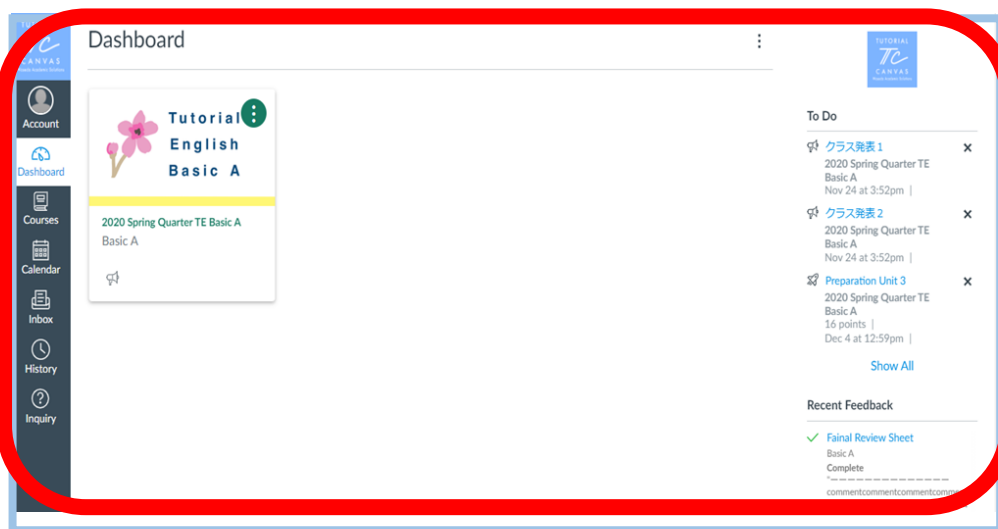


図 2 Tutorial Canvas 画面

主な機能		機能概要
Account	個人情報の確認	個人情報を確認できます。
Dashboard	ダッシュボード	現在履修している Tutorial English のコース画面が表示されます。ここに表示されているコースの中に入ると Preparation の提出や各 Unit の成績、チューターからのコメントを確認できます。
Courses	コース	履修している Tutorial English のコースが確認できます。(過年度のコース確認は不可)
Calendar	カレンダー	Preparation の締切日を確認できます。
Inbox ※使用しません	—	Tutorial English では、本機能は使用しません。 ※Inbox、Inquiry からのお問い合わせには一切回答できかねますのでご了承ください。
Inquiry ※使用しません	—	
To Do	お知らせ	Tutorial English に関する重要なお知らせや Preparation の期日が表示されます。 ※既読済みのお知らせを再度確認する方法は、P.7 を参照(パソコンのみ可)。

◆Course 画面

TUTORIAL CANVAS Basic A > Modules

① Home
② Announcements
③ Grades

④ レッスンに関するお知らせ

- 春クォーターUnit 10のレッスン評価及びFinal Review Sheet につきまして
- (日本語) 2021年度 Tutorial English A~D 履修ガイド<クォーター科目>
- (English) 2021 Guide to Tutorial English A~D <Quarter Course>
- 土日祝日にシステム障害が発生した場合の対応 (クォーター科目)
- Tutorial Canvas 推奨環境
- Test Unit の CEFR 判定基準について
- Test Unit (Unit 5, 10) について

⑤ Unit 1

- Preparation Unit1
Apr 21 | 12 pts
- Unit 1 テキストPDF

Unit 10 (Test Unit)

Preparation Unit 10
0 pts

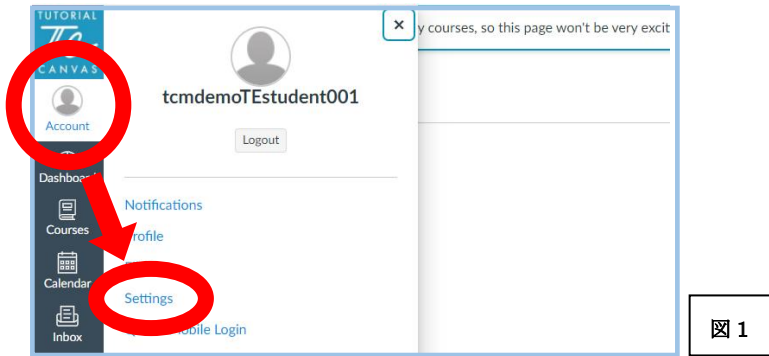
- ⑥ Final Review Sheet の発行・確認方法について
- ⑦ WeTEC成果測定について
- ⑧ アンケート回答

◆『Tutorial Canvas』全般機能概要

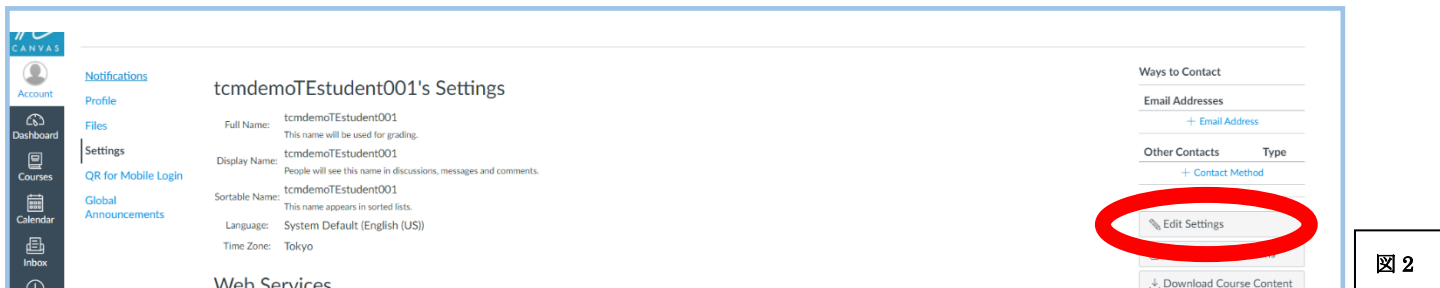
①Home	コースのトップページへ戻ります。
②Announcements	To Do で既読済みの Tutorial English に関する重要なお知らせを確認できます。パソコンでのみ表示されます。
③Grades	各授業の評価やチューターからのコメント、Final Review Sheet が確認できます。 …各 Unit の評価を確認できます。 …チューターからのコメントを確認できます。 なお、「Final Review Sheet」横にある をクリックすることで、Final Review Sheet が確認可能です。
④授業に確認するお知らせ	履修ガイドなど Tutorial English に関する情報を確認できます。
⑤Preparation	Preparation の解答提出ができます。
⑥Final Review Sheet の発行・確認方法について	Final Review Sheet の発行・確認方法について確認ができます。
⑦LANGX Speaking 成果測定について	受験期間になると、LANGX Speaking 受験ページへアクセスできるリンクを確認できるようになります。
⑧アンケート回答	回答期間になると、アンケートが回答できるようになります。

◆パスワードの変更方法

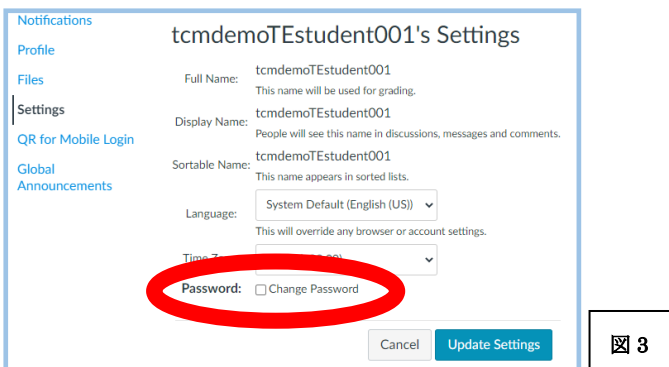
- ① Tutorial Canvas へアクセスし、User ID 及び Password を入力してログインする。
- ② 「Account」、「Settings」の順でクリックする。(図 1)



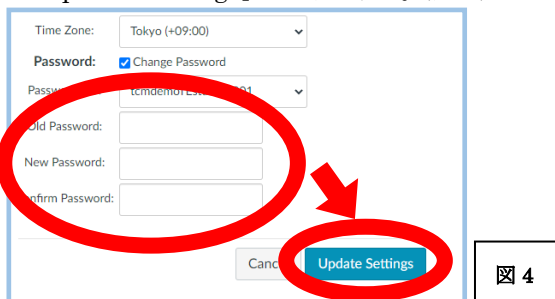
- ③ 「Edit Settings」をクリックする。(図 2)



- ④ 「Change Password」をクリックする。(図 3)



- ⑤ 「Old Password」に現在のパスワード、「New Password」と「Confirm Password」に新しいパスワードを入力して「Update Settings」をクリックする。(図 4)



パスワードは忘れないように必ず管理をしてください。ログイン画面の「Forgot Password?」機能は利用できません。

パスワードを忘れた等お問い合わせは、7. 授業に関する相談・お問い合わせまでお願いします。



1.5 履修レベル・教室情報の確認(Tutorial Canvas)

◆My Page Top 画面

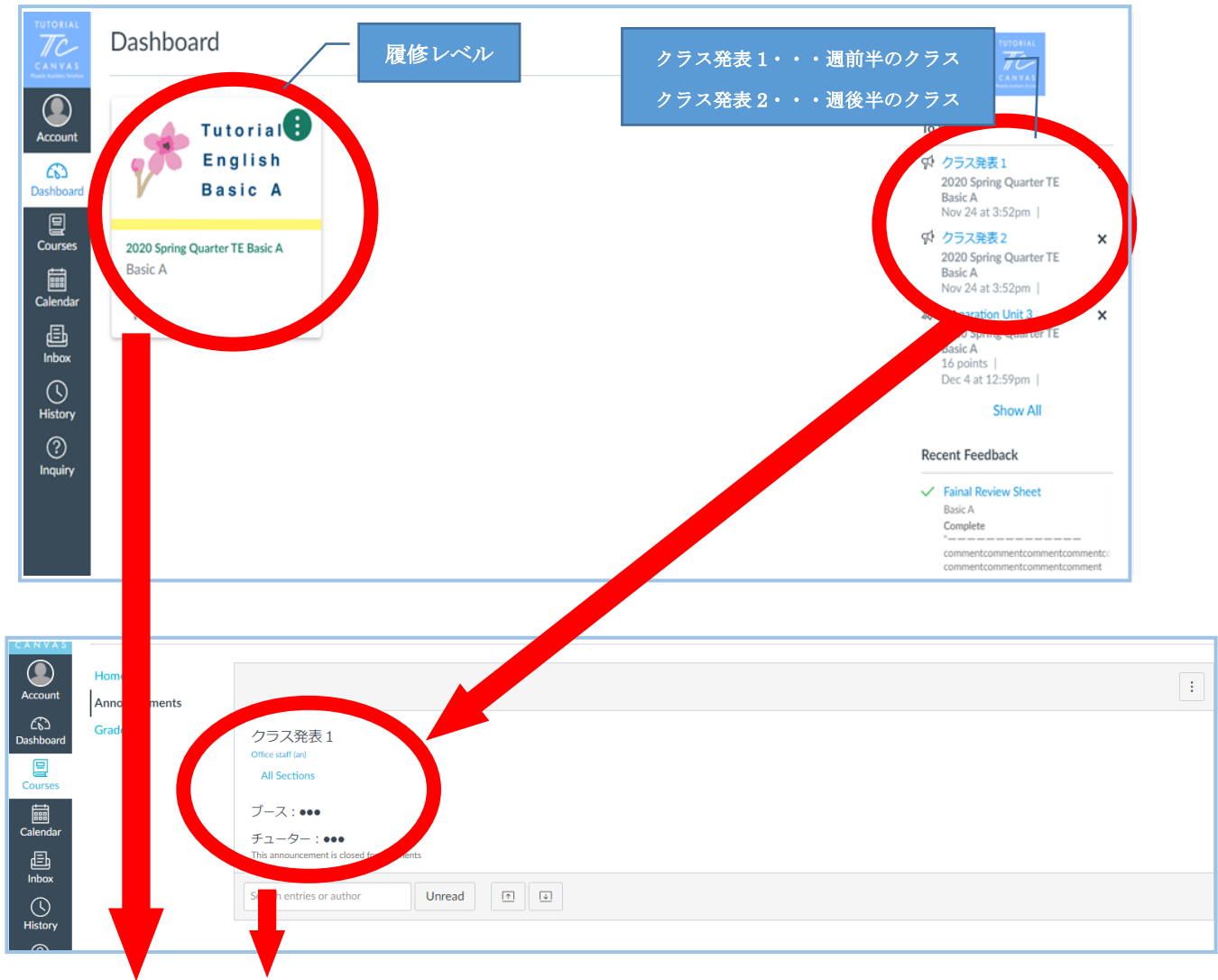
【履修レベル】

Tutorial Canvas ログイン後に Dashboard に表示されたカードのレベルが履修レベルになります。

※A ⇒ BもしくはC ⇒ Dの順番に履修をします。カードを選び間違えないように注意してください。

【教室】

画面右上にある To Do の下にある「クラス発表 1」、「クラス発表 2」をクリックしてください。



<注意！>

授業が始まるまでに必ず自分の履修レベル、履修する曜日時限、教室をメモしてください。

履修レベル

月曜日 限 教室: _____

木曜日 限 教室: _____

※ 一度お知らせを参照すると既読となり「To Do」に表示されなくなります。再度確認する際は「Announcements」をクリックし、確認してください。「Announcement」は、パソコン以外のデバイスでは表示されません。パソコンで確認をしてください。

※ パソコン以外のデバイスで「To Do」のお知らせを閲覧した場合、「Announcement」に再表示されません。初回確認時に必ず控えをとるようにしてください。なお、パソコン利用の場合は「Announcements」からの再確認が可能です

2. 授業開始まで

Tutorial English は、授業開始までに、テスト受験など、受講前の準備があります。流れをよく確認してください。

2.1 LANGX Speaking 受験(事前測定・約 30 分)

★成績評価対象



受験方法:「5 LANGX Speaking 受験ガイド」ページを参照してください。再受験はできません。スコアをもとに履修クラスを決定します。受験しなかった場合、自身の英語力に合うクラスで履修できない可能性があります。

受験期間:「2025 年度 Tutorial English 開講日程」(P.2) 参照。必ず所定期間内に受験してください。
再受験不可。成績評価の対象となります。

2.2 履修クラスの確認



◆Tutorial Canvas: 詳細は P.9 を参照

Tutorial Canvas 上で、教室および担当チューターを発表します。

発表日(予定)は、次のとおりです。

学 期	クラス発表日
春学期	2025 年 4 月 21 日(月)夕刻
秋学期	2025 年 9 月 19 日(金)夕刻

2.3 テキスト購入

「Talk」というテキストを使用します。下記記載の URL を参照し、【楽天ブックスネットワーク】より、各学期 2 冊購入してください。

【楽天ブックスネットワーク】

※購入サイトの表紙画像のとおり 上記テキストは Second Edition になります。

※送料無料です。

※最短で注文日の翌日にお届けになります。



Unit 1 については、Tutorial Canvas 上で該当 Unit のテキストの PDF を公開いたします。

テキストを忘れると授業に支障をきたしますので、必ずテキストを持参してください。

■使用テキスト一覧

楽天ブックスネットワーク

A(春学期)

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Basic) A	Talk Basic A (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 +税 10%)
Tutorial English (Intermediate) A	Talk Intermediate A (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) A	Talk Upper Intermediate A (Second Edition)	

B(春学期)

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Basic) B	Talk Basic B (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 +税 10%)
Tutorial English (Intermediate) B	Talk Intermediate B (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) B	Talk Upper Intermediate B (Second Edition)	

C(秋学期)

科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Basic) C	Talk Basic C (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 +税 10%)
Tutorial English (Intermediate) C	Talk Intermediate C (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) C	Talk Upper Intermediate C (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) A	Talk Advanced A (Second Edition)	

D(秋学期)

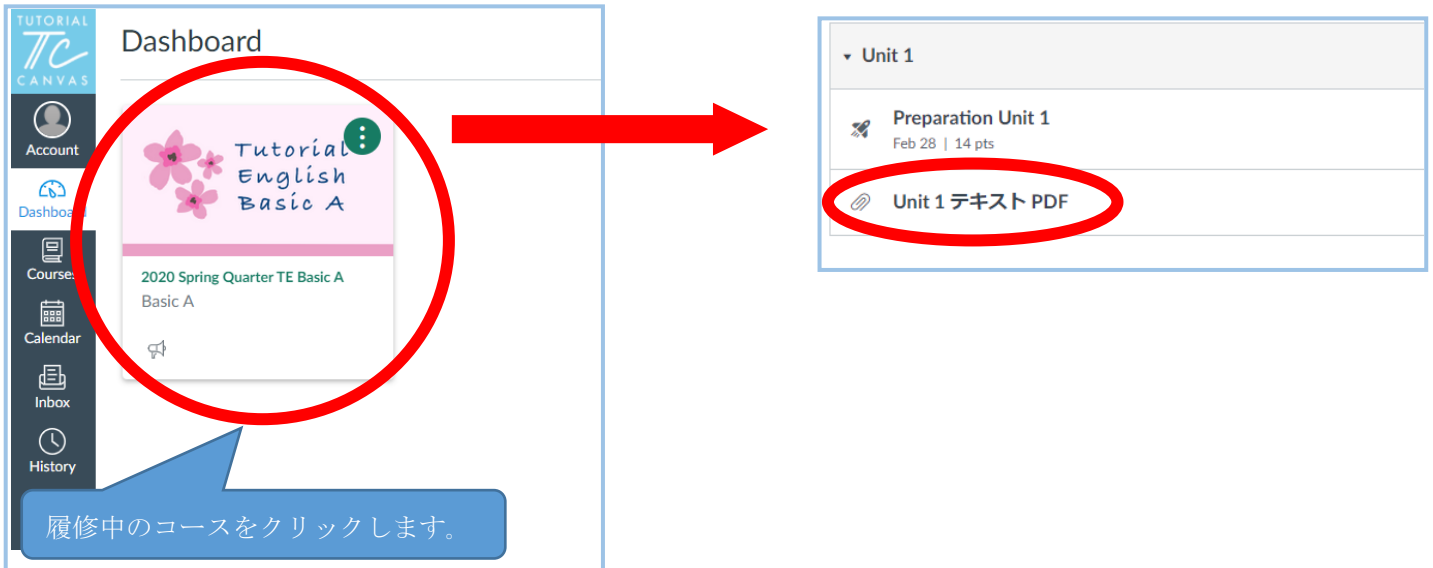
科目名	使用テキスト名	価格
Tutorial English (Basic) D	Talk Basic D (Second Edition)	定価 1,320 円 (本体 1,200 円 +税 10%)
Tutorial English (Intermediate) D	Talk Intermediate D (Second Edition)	
Tutorial English (Upper Intermediate) D	Talk Upper Intermediate D (Second Edition)	
Tutorial English (Advanced) B	Talk Advanced B (Second Edition)	

【Unit 1 のテキストに関して】

各クォーターの Unit1 のテキストは Tutorial Canvas 上に掲載します。以下の方法でテキストのデータへアクセスしてください。なお、Unit 2 以降は掲載されませんのでテキストは早めに購入してください。

<Unit 1 のテキストへのアクセス方法>

Tutorial Canvas にログイン後、履修中のコースにアクセスをして、「Unit 1」内にある「Unit 1 テキスト PDF」をクリック、テキストをダウンロードしてください。



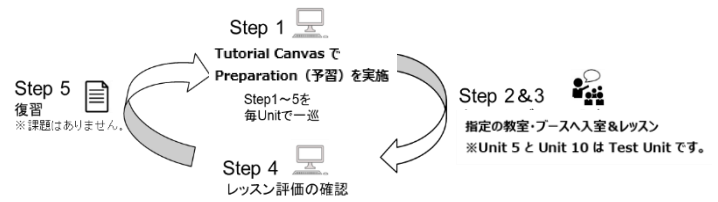
■授業にテキストを忘れた場合

授業はテキストに沿って進められます。テキストを忘れると、授業に支障をきたしますので、必ずテキストを持参してください。

3. 授業期間中

各授業には会話表現に関する目標 (Can-do) が設定されています。チューターの指導のもと、ペアワークやグループワークを通じて英会話の練習をします。語彙の修得だけでなく、会話の始め方や弾ませ方、ディスカッションの進め方など、実践の場ですぐに活かせるスキルも身につけることができます。

また、**予習 (Preparation)**、**テスト受験 (LANGX Speaking)** など、**授業時間外にも成績評価対象となる課題があります。**右図の各ユニットの流れ (Step 1~4) をよく理解し履修しましょう。



Step 1. Preparation(予習)

★成績評価対象



成績評価の対象となりますので (P.23)、授業開始までに必ず Tutorial Canvas で Preparation に取り組んでください。

Preparation の解答期間は、**各授業の 7 日前から授業開始時までです。**

例) 4 月 28 日(月) 3 限の Preparation の解答期限は 4 月 28 日(月) 12:29

※なお、クォーター初回 (Unit 1) では、解答期間が 7 日間より短くなることがあります。

【注意事項】

- リスニング問題の会話はテキストに掲載されており、テキストを見ながら聴くことを推奨いたします。
 - Preparation は各 Unit につき **2 回まで** 解答することができ、**2 回のうちスコアの高いほう** が成績評価に使用されます。なお、2 回目を解くときは、正解した問題も含めて全問解きなす必要があります。2 回目の解答は必須ではありません。
 - 正解は 2 回解答した後に表示されます。
 - 自由記述式の問題は成績評価の対象外となりますが、授業内でのパフォーマンス向上や学習効果を高めるためにも、必ず解答してください。
- 授業を欠席する場合でも、解答期間内であれば Preparation を提出することが可能です。
- テキストに目を通し、わからない単語や表現などを調べておくと、授業での学習効果をより高めることができます。

※設問と選択肢が日本語で出てくる場合: ブラウザの言語設定を日本語から英語に変更してください。

※パソコントラブルを含む個別の事由による再提出などは認められません。



◆Preparation の解答方法

① Dashboard にある履修中のコースをクリックし、解答したい Unit の「Preparation Unit ●」をクリックします。

② 「Take the Quiz」をクリックします。

The screenshot shows the Canvas LMS interface for 'Preparation Unit 1'. The breadcrumb trail is 'Basic A > Quizzes > Preparation Unit 1'. The main content area displays 'Preparation Unit 1' with details: 'Due Feb 28 at 12:59pm', 'Points 14', 'Questions 5', 'Available Feb 10, 2020 at 12pm - Feb 28 at 12:59pm about 1 year', and 'Time Limit None'. A yellow button labeled 'Take the Quiz' is circled in red.

③ 「再生ボタン」をクリックし、音声を再生して、下にある問題に解答します。

The screenshot shows the 'Quiz Instructions' page for 'Preparation Unit 1' in the 'Advanced A' section. A video player is embedded in the question area, and a blue callout box with the text '選択肢を選んで回答します。' (Select an option and answer.) points to the radio button options. The question is: 'Why was the discussion limited to just Australia and Singapore?' with four radio button options. The 'Take the Quiz' button is circled in red. The right sidebar shows a list of questions and a timer.

④ 最後まで解答したら右下にある「Submit Quiz」をクリックします。

The screenshot shows the end of the quiz. The question area displays 'Question 12' with the question: 'Which statement is an elaboration on what someone else has said?' and four radio button options. The 'Submit Quiz' button is circled in red. The right sidebar shows the question list and a timer.

⑤ スコアが表示されます。もう1度受験する場合は「Take the Quiz Again」をクリックします。

⑥ 2回目の解答方法は③～④と同じです。

⑦ 2回解答すると、両方のスコアが表示されますが、高い方のスコアが成績評価に使用されます。

ポイント

- Preparation は、**成績評価の対象**となります。
- 解答期間は、**各授業の7日前～授業開始時間**までです。
※例えば月曜3限に履修されている方は月曜12:29が期限です
- 授業を欠席する場合でも解答期間内であれば提出することができます。
- 2回まで解答することができ、**スコアの高いほう**が**成績評価の対象**となります。
- パソコントラブルを含む個別の事由による再提出などは認められません。
- 自由記述式の問題については成績評価の対象外となりますが、授業内でのパフォーマンスの向上や学習効果を高めるためにも、必ず解答してください。





クラス発表でアナウンスされた教室で授業に参加してください。授業中は積極的に話しましょう。

授業はテキストを用いながら全て英語で行います。各授業には会話表現に関する目標(Can-do)が設定されています。

チューターの指導のもと、ペアワークやグループワークを通じて英会話の練習をします。語彙の習得だけでなく、会話の始め方や弾ませ方、ディスカッションの進め方など、実践の場ですぐに活かせるスキルも身につけることができます。

なお、授業は対面で90分となります。以下の点に注意して履修してください。なお、出欠に関するルールはP.24を確認してください。

■注意

- ・他の受講生が著しく不利益を被るような、周囲に騒がしい状況で授業に参加しないでください。場合によっては Interaction などの評価点をゼロとし、出席として扱われないことがあります。

なお、全20回の授業のうち、A,BまたはC,Dのそれぞれ **Unit 5 および Unit 10 は Test Unit** です。

Test Unit とは、これまでの授業で学んだ内容をアウトプットし、スピーキング能力を評価する場です。Unit 1~4の内容を Unit 5で、Unit 6~9の内容を Unit 10で評価します。各ユニットで学んだ Can-do を融合させたテストを行うため、これまでの学習内容を復習する機会になります。具体的な成績評価については P.23 を参照してください。



4回の Test Unit のうち3回欠席すると、単位を修得できません。
注意してください！





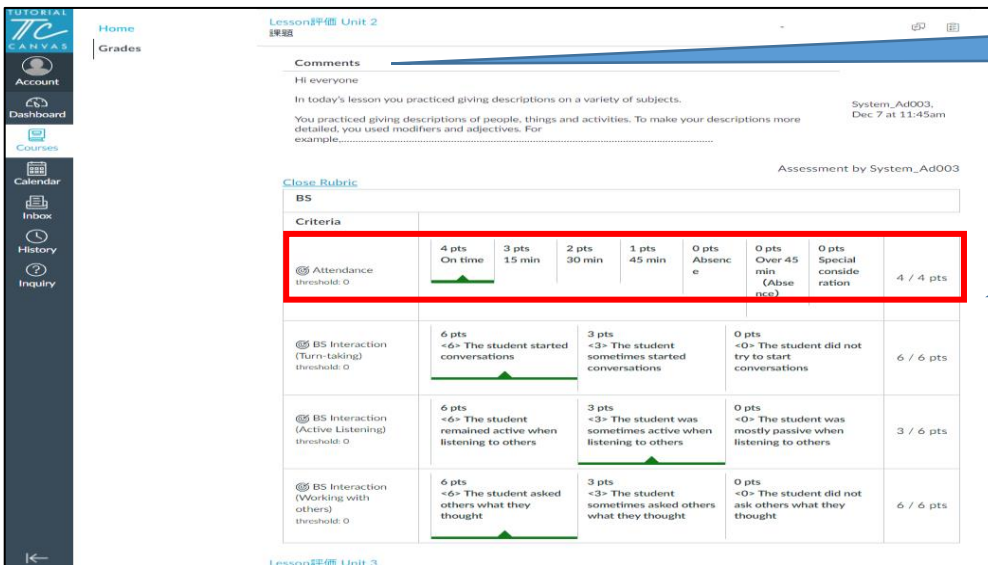
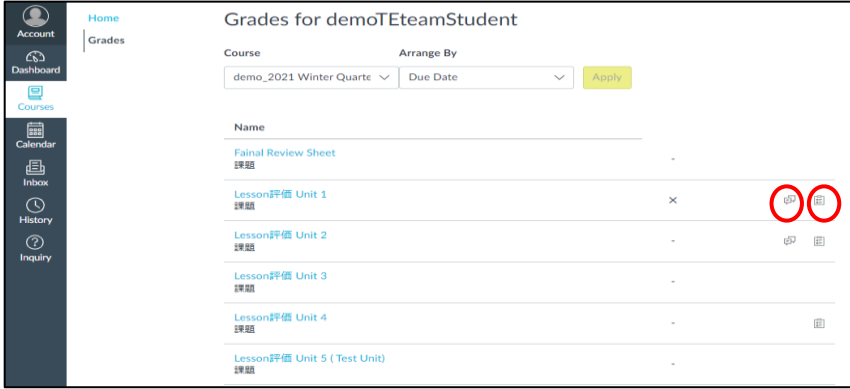
Step 3. 授業評価確認

各授業終了後(授業の翌々日までに)、Tutorial Canvas の「Grades」にチューターから「授業評価」とクラス全体への「コメント」が掲載されます。必ず確認してください。

授業評価を確認する場合は クラス全体へのコメントを確認する場合は をクリックしてください。

◆Tutorial Canvas

履修中のコースを選んだあと、Grades をクリック後に表示される「Lesson 評価 Unit ●」の横にある アイコンをクリック



クラス全体への「コメント」

授業評価
* Attendance のポイント (4pts~0pts)は成績評価ポイントに含まれません。

■授業評価の問い合わせ期限

授業評価について質問がある場合は、以下期限内にお問い合わせください。

お問い合わせ先は、7. 授業に関する相談・お問い合わせ を参照

学期	期限
春学期	2025年 7月 24日(木)
秋学期	2025年 12月 22日(木)

【注意事項】

- 期限を過ぎた質問等は受付できません。
 - Tutorial Canvas の Inquiry からご質問いただくことはできません。
- 授業評価の問い合わせ期限は上記の通り設定されていますが、ご自身の授業評価は必ずユニット終了毎に行ってください。また、質問がある場合には、期限を待たずにお早めにお問い合わせください。

■Test Unit 英語力指標

Tutorial English のテキスト『Talk』は※CEFR(セファール)に準じて作成されています。

Unit 5、Unit 10 の Test Unit では、評価とは別に、Range、Accuracy、Fluency、Phonology について、「CEFR」に合わせた現在の英語力の指標が表示されます。

TUTORIAL
CANVAS

2022年クオーター

Home

Announcements

Grades

Account

Dashboard

Courses

Calendar

Inbox

History

	6 pts A1	5 pts A2	4 pts B1	3 pts B2	2 pts C1	1 pts C2	0 pts N/A	
Range threshold: 0					▲			2 / 6 pts
Accuracy threshold: 0					▲			2 / 6 pts
Fluency threshold: 0						▲		1 / 6 pts
Phonology threshold: 0						▲		1 / 6 pts


CEFR の指標に
あるポイントは、
評価対象ポイント
ではありません

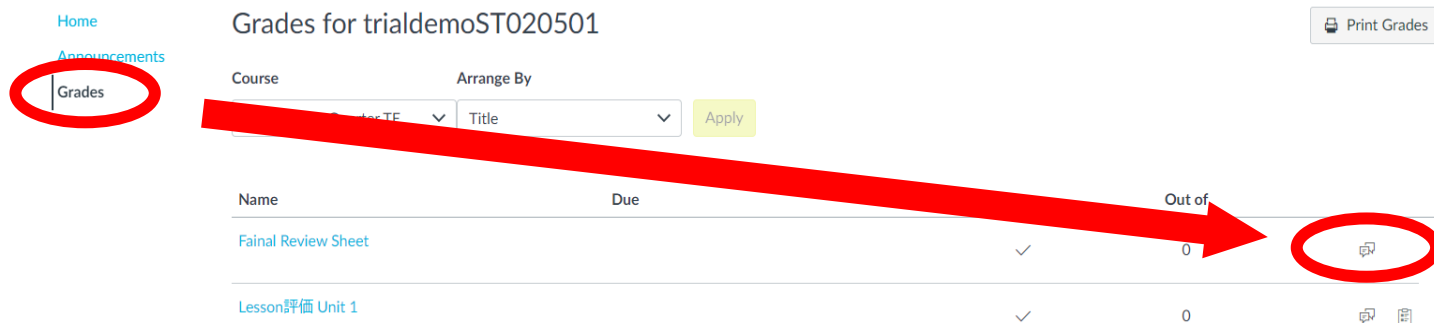
【CEFR 英語力指標】

※ CEFR とは Common European Framework of Reference for Languages の略で、「ヨーロッパ言語共通参照枠」と訳されます。多言語が行き交うヨーロッパにて、どの言語で、どのくらいの語学力があるかを共通して測る物差しとされています。学習を始めたばかりの初学者 (A1) から母語話者と遜色のない熟練者 (C2) までのスケールがあります。判定基準は以下の表をご参照ください。

	Range	Accuracy	Fluency	Phonology
C2	- Shows great flexibility reformulating ideas in differing linguistic forms to convey finer shades of meaning precisely, to give emphasis, to differentiate and to eliminate ambiguity. Also has a good command of idiomatic expressions and colloquialisms.	- Maintains consistent grammatical control of complex language, even while attention is otherwise engaged (e.g. in forward planning, in monitoring others' reactions).	- Can express him/herself spontaneously at length with a natural colloquial flow, avoiding or backtracking around any difficulty so smoothly that the interlocutor is hardly aware of it.	- Can employ the full range of phonological features in the target language with a high level of control – including prosodic features such as word and sentence stress, rhythm and intonation – so that the finer points of his/her message are clear and precise. Intelligibility is not affected in any way by features of accent that may be retained from other language(s).
C1	- Has a good command of a broad range of language allowing him/her to select a formulation to express him/ herself clearly on a wide range of general, academic, professional or leisure topics without having to restrict what he/she wants to say.	- Consistently maintains a high degree of grammatical accuracy; errors are rare and difficult to spot.	- Can express him/herself fluently and spontaneously, almost effortlessly. - Only a conceptually difficult subject can hinder a natural, smooth flow of language. - Demonstrates fully controlled use of connecting phrases and organizational patterns to form smooth-flowing speech.	- Can articulate virtually all the sounds of the target language; some features of accent retained from other language(s) may be noticeable, but they do not affect intelligibility. - Can vary intonation and place sentence stress correctly in order to express finer shades of meaning.
B2	- Has a sufficient range of language to be able to give clear descriptions, express viewpoints and develop arguments without much noticeable searching for words, using some complex sentence forms to do so.	- Shows a relatively high degree of grammatical control. Does not make errors which cause misunderstanding, and can correct most of his/her mistakes.	- Can produce stretches of language at a fairly even tempo. - There are not many noticeably long pauses. - Can link phrases into coherent speech using a limited number of cohesive devices/connecting phrases, though there may be some 'jumps' in a long contribution.	- Can generally use appropriate intonation, place stress correctly and articulate individual sounds clearly. - Accent can be influenced by other language(s) he/she speaks, but has little or no effect on intelligibility.
B1	- Has enough language to get by in everyday life, with sufficient vocabulary to express him/herself with some hesitation and circumlocutions on topics such as family, hobbies and interests, work, travel, and current events, but vocabulary limitations cause repetition and even difficulty with formulation at times.	- Uses reasonably accurately a repertoire of frequently used 'routines' and patterns associated with more predictable situations.	- Can keep going comprehensibly, even though pausing for planning and repair is very evident, especially in longer stretches of free production. - Can link simple elements into a linear sequence.	- Pronunciation is generally intelligible even if a foreign accent is sometimes evident and occasional mispronunciations occur. - Can approximate intonation and stress.
A2	- Can produce brief everyday expressions in order to satisfy simple needs of a concrete type (e.g. personal details, daily routines, wants and needs, requests for information.) - Can use basic sentence patterns and communicate with memorized phrases and groups of a few words about themselves and other people, what they do, places, possessions etc.	- Uses some simple structures correctly, but still systematically makes basic mistakes (e.g. tends to mix up tenses or forgets to mark agreement). - It is still usually clear what he/she is trying to say.	- Can make him/herself understood in short stretches, even though pauses, false starts and reformulation are very evident. - Can construct phrases on familiar topics with sufficient ease to handle short exchanges, despite very noticeable hesitation and false starts. - Can link phrases with simple connectors like "and," "but" and "because."	- Pronunciation is generally clear enough to be understood, but native speakers might need to ask for repetition from time to time. - A strong influence from other language(s) he/she speaks on stress, rhythm and intonation may affect intelligibility, but pronunciation of familiar words is clear.
A1	- Has a very basic range of simple expressions about personal details and needs of a concrete type. - Can use some basic structures in single-clause sentences with some omission or reduction of elements.	- Shows only limited control of a few simple grammatical structures and sentence patterns in a memorized repertoire.	- Can manage very short, isolated, mainly pre-packaged phrases, with significant pausing to search for expressions, to articulate less familiar words, and to repair communication. - Can link words with very basic connectors like "and" or "then."	- Pronunciation of a very limited repertoire of learnt words and phrases can be understood with some effort by interlocutors used to dealing with speakers of the language group concerned. - Can reproduce correctly a limited range of sounds as well as the stress on simple, familiar words and phrases.




Step 4. Final Review Sheet 確認 (テキスト 1 冊目)

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、左側にある「Grades」をクリックし、「Final Review Sheet」横の  をクリック



Grades for trialdemoST020501

Course: [dropdown] Arrange By: [dropdown] [Apply]

Name	Due	Out of	
Final Review Sheet		0	
Lesson評価 Unit 1		0	 

テキスト 1 冊目 (A または C) の Unit 10 の授業終了後、Tutorial Canvas にチューターから所定の条件(*)を満たした履修者へフィードバックが掲載されます。授業を通じて達成できたことや課題点、学習アドバイスなど、今後の英語コミュニケーション能力の向上に役立ててください。

(*)条件

テキスト 1 冊目 (A または C) の Unit 1~Unit 10 までの授業のうち、
2 名のチューターの授業にそれぞれ過半数出席

4. 授業期間後

Step 1. LANGX Speaking（成果測定）受験（約 60 分）

★成績評価対象



◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、Unit 10 の「LANGX Speaking 成果測定について」をクリック

授業期間終了後に LANGX Speaking を再度受験し、事前測定と比較してどれだけ英語力が伸びたかを測ります。受験方法は「5 LANGX Speaking 受験ガイド」ページを参照してください。

受験期間は「Tutorial English 開講日程」(P.2)を参照し、必ず所定期間内に受験してください。

※LANGX Speaking は成績評価ポイントの対象です。
ポイント取得の条件は、「6.1 成績評価方法」に記載があります。

Step 2. 授業アンケート回答【B または D のみ】


◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、Unit 10 の「アンケート回答」をクリック

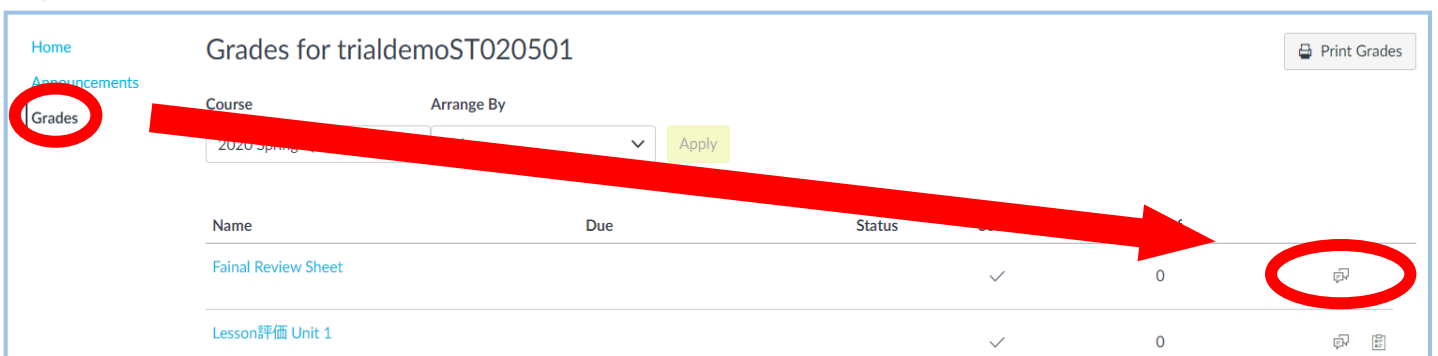
学生による授業評価アンケートを実施します。成績には一切影響はありません。



今後の授業運営の参考としますので回答への協力をお願いします。



Step 3. Final Review Sheet 確認（テキスト 2 冊目）

◆Tutorial Canvas: Dashboard からコースに入った後、左側にある「Grades」をクリックし、「Final Review Sheet」横の  をクリック



Name	Due	Status	Score	Feedback
Final Review Sheet		✓	0	
Lesson評価 Unit 1		✓	0	

授業期間終了後、Tutorial Canvas にチューターから所定の条件(*1)を満たした履修者へ以下の日程(*2)までにフィードバックが掲載されます。授業を通じて達成できたことや課題点、学習アドバイスなど、今後の英語コミュニケーション能力の向上に役立ててください。

(*1)条件			
テキスト 2 冊目 (B または D) の Unit 1~Unit 10 までの授業のうち、2 名のチューターの授業にそれぞれ過半数出席			
(*2) 掲載予定日			
春学期	2025 年 7 月 25 日(金)	秋学期	2025 年 12 月 25 日(木)

5. LANGX Speaking 受験ガイド

LANGX Speaking とは



LANGX Speaking は、双方向的なやりとりの中で即興的に会話を続ける能力を測るためのテストです。音声対話システム技術を活用して、会話 AI エージェントが受験者と自然な会話をを行います。会話 AI エージェントは個人の習熟度に合わせて話題を調整することで、受験者の能力を最大限引き出し、スピーキング能力を効果的に測定することが可能です。



図: 会話 AI エージェントとのテストの様子。

1 自然な会話

受験者は会話 AI エージェントとインタビューやロールプレイを行います。

実際の人同士のコミュニケーションと同様に、自然な会話を通してスピーキング能力を判定します。

2 適応型テスト

インタビューとロールプレイの問題は、会話中に測定される受験者の習熟度に基づき、個人のレベルに合ったものが提示されます。試験時間は受験者の返答によって変動しますが、平均は約 20-30 分です。

3 正確な自動判定

最新の AI による自動採点により、**総合評価**に加えて**6つの観点別評価**(語彙の豊富さ・文法の正確さ・発音・流暢さ・一貫性・やりとりの力)についてスコアを短時間で算出します。なお、確信度の低いサンプルは、人間の専門家による再判定を行う場合があります。

4 オンライン受験

指定された受験期間内であれば、自分の好きな時に受験をすることが可能です。

LANGX Speaking 受験について

■ 受験の流れ: アカウント作成～テスト受験の流れは下記 URL で、確認できます。

<https://led.w-as.jp/tcm/LANGX.html>

アカウント作成の手順 → 上記ページにてサインインを押してください。

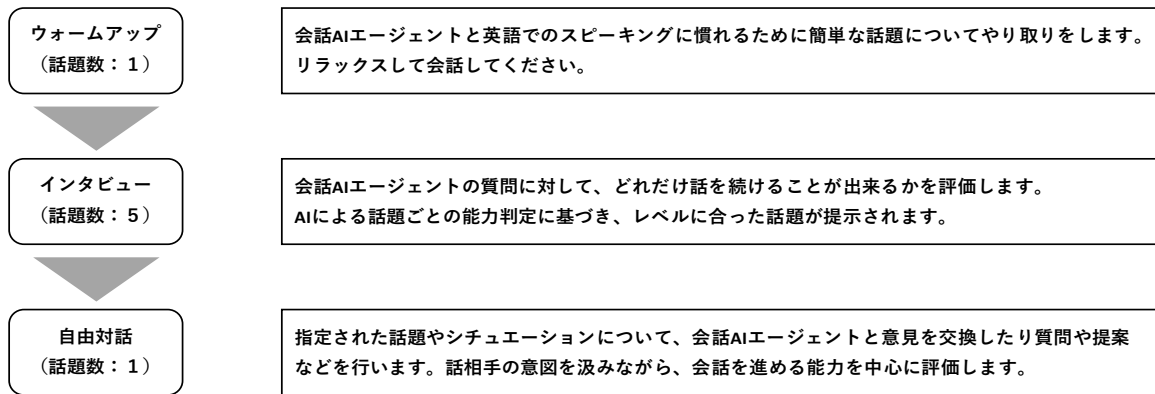


LANGX Speaking 受験

● 受験情報(チケット情報)

受験期間	『Tutorial English 開講日程』 P.2 参照
チケットコード	メールでご案内する受験案内ページ上に記載されています。
チケット ID	学籍番号を半角で入力してください。“- (ハイフン)”は不要です。 例) 2025-3XX の場合 → 20253XX と入力
チケットパスワード	自分の誕生日の数字 4 桁を半角で入力してください。 例) 6 月 27 日生まれの場合→0627

■テスト内容:



■テスト結果: テスト終了後にサイト上にスコアが表示されます。

■受験に必要な環境:

- 1 静かな環境(移動中やカフェ等、雑音の多い場所は避けてください。)
- 2 パソコン(タブレットは非奨励。スマートフォンは非対応です。)
- 3 カメラと、マイクおよびスピーカー(マイク付きヘッドホンの利用を推奨。)
- 4 最新の Google Chrome ブラウザ(ブラウザが最新であることを必ず確認してください。)
- 5 安定したインターネット環境(上り下り 2.5Mbps 以上を推奨しています。)

■お問い合わせ

受験に関するご質問は、受験期間内にお問い合わせください。回答は翌営業日以降になる場合があります。

受験期間の最終日当日に質問を行う場合、回答が受験期間内に間に合わない可能性がありますので、注意してください。

お問い合わせ先

(株)早稲田大学アカデミックソリューション 語学教育部
7. 授業に関する相談・お問い合わせ参照

6. 成績評価

6.1 成績評価方法

授業は、評価ガイドライン(P.26,27 参照)に即し、出席回数、及び以下の評価対象項目のポイント数の合計をもとに評価されます。各ユニットに学習目標があるため、授業に出席し、積極的に授業に参加することが成績評価の必須条件となります。そのため、出席回数が成績評価に影響します。

評価対象項目	対象ユニット	ポイント数 (合計 788 ポイント)	説明
1. Preparation	各テキストの Unit 1～10 (計 20 Unit)	0～12 ポイント／1 Unit (合計 240 ポイント)	授業後、Tutorial Canvas から各授業前までに解答して提出する予習課題「Preparation」の解答内容を正解数に応じて 0～12 ポイントで評価します。なお、Tutorial English における課題に取り組むにあたり、以下の行為は不適切な行為とみなします。 (1) 他人の解答を写すこと、または自分の解答を写させること (2) 他人と共同で解答を作成すること (3) その他、不正と判断される行為 上記の行為が発覚した場合、成績評価を「F(不可)」とし、教務課へ報告します。
2. Interaction	各テキストの Unit 5, 10 以外 (計 16 Unit)	0～18 ポイント／1 Unit (6 ポイント×3 項目× 16 Unit=合計 288 ポイント)	Turn-taking、Active Listening、Working with others の 3 項目において、どれだけ授業内の発話、コミュニケーションに貢献したかで評価します。各レベルの評価基準は P.26, 27 に記載されています。 Turn-taking・・・会話をスタートさせ、会話中どれだけ積極的に参加することができるか。また、話すチャンスがあった時や話題を向けられたとき、話すことができたかを評価します。 Active Listening・・・他の学生が話している時に、うなずいたり、反応したりして、相手の発話を促すような聞き方をしているかを評価します。 Working with others・・・協力して、会話を続けることができるか。例えば、follow-up question を聞いてより詳しい情報を聞き出したり、他の学生のアイデアを発展させて会話を続けることができるかを評価します。
3. Test Unit	各テキストの Unit 5, 10 (計 4 Unit)	0～60 ポイント／1 Unit ※Advanced 以外のレベル (15 ポイント×4 Can-do× 4 Unit=合計 240 ポイント) ※Advanced (30 ポイント×2 Can-do× 4 Unit=合計 240 ポイント)	Unit 5 では Unit 1～Unit 4、Unit 10 では Unit 6～Unit 9 に設定された Can-do の達成度を、テキストの Speaking を使用したアクティビティを通じて、それぞれ 0～15 ポイント(最大 60 ポイント)で評価します。 ※Advanced の場合は各 Test Unit で評価される Can-do が 2 つずつのため、それぞれ 0～30 ポイント(最大 60 ポイント)で評価します。 なお、Test Unit を 3 回欠席した場合は、合計で 14 回以上出席していても単位付与対象外となりますので、注意してください。
4.LANGX Speaking	事前測定 成果測定	0～20 ポイント (最大 20 ポイント)	授業期間前(事前測定)と授業期間終了前後(成果測定)の合計 2 回の受験状況を以下の条件により評価します。(最大 20 ポイント) (1) 事前測定および成果測定の両方を受験した場合・・・10 ポイント (2) 事前測定および成果測定の両方を受験し、かつ成果測定のレベル判定が履修レベル以上であった場合(※)・・・10 ポイント ※例:履修レベルがIntermediateのとき、成果測定のレベルが Intermediate・Upper Intermediate・Advanced の場合は 5 ポイント加算される。レベル判定が Basic のときは、加算されない。

■成績の修得条件

成績	A+	A	B	C
修得条件 (満点 788 点)	18 回以上の授業に出席し、かつ評価対象項目合計で 710 ポイント以上を取得	17 回以上の授業に出席し、かつ評価対象項目合計で 632 ポイント以上を取得	16 回以上の授業に出席し、かつ評価対象項目合計で 552 ポイント以上を取得	14 回以上の授業に出席し、かつ評価対象項目合計で 474 ポイント以上を取得

※出席回数が 13 回以下の場合、及び評価対象項目の合計取得ポイントが「473 ポイント以下」の場合は、自動的に F(不合格)となります。

6.2 遅刻・早退・欠席の扱い

Tutorial English は、目標 (Can-do) の達成度を評価する科目であるため、出席を重視します。原則としていかなる理由で欠席した場合も全て「欠席」として扱います。遅延証明書等は受け付けません。

以下が「遅刻/早退」、「欠席」の条件および注意事項です。

■遅刻/早退

- ・15 分以内であれば、遅刻/早退とみなします。
- ・15 分以内の「遅刻/早退」に対する減点はありません。ただし、遅刻/早退した場合は Interaction または Can-do の評価を一部受けることができず獲得できる評価ポイントが少なくなる可能性があります。

■欠席

- ・15 分を超える遅刻/早退は欠席とみなします。
- ・3 回の遅刻/早退を 1 回の欠席とみなします。
- ・15 分を超える遅刻/早退は欠席扱いとなりますが、Preparation と Interaction、Can-do の評価を受けることは可能です。
- ・授業を欠席する場合でも、授業開始前であれば Preparation の提出は可能です。
- ・欠席する際の連絡は不要です。

■その他

- ・欠席回数が 7 回となった時点で単位修得はできません (出欠席は Tutorial Canvas で確認することができます)。
- ・Test Unit を 3 回欠席した場合、欠席回数が 7 回未満でも単位修得はできません。

6.3 出欠席・成績評価上の特別配慮(公欠)について

自然災害や伝染病等のため、大学全体が休講となった場合には、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います。また、以下の理由で欠席した場合は、期日までに必要書類を所定の申請方法で提出した方に限り、出欠席・成績評価上の特別配慮を行います(それ以外の理由での出欠席・成績評価上の特別配慮は、一切行いません)。

特別配慮を行った場合でも、Preparation ならびに LANGX Speaking については、履修者が提出したもの・受験した結果を評価の対象とします。できる限り提出・受験をしてください。

【注意】Tutorial English につきましては、大学が承認した大学行事、大学主催の演奏会等でも公欠として認めません。

事由	必要提出書類	申請方法
忌引き (2親等以内)	「忌引届」	UNIPA クラスプロフィール授業 Q&A から提出
学校感染症	「学校感染症治療後・登校許可証明書」	医務室に届け出て認められたのち、UNIPA クラスプロフィール授業 Q&A から提出

■書類の提出期限

学期	期限
春学期	2025年 7月 24日(木)
秋学期	2025年 12月 22日(月)

※提出期限を過ぎた場合は、受け付けません(配慮の対象となりません)。

6.4 休講・補講について

原則として、休講はありません。ただし、大学全体が休講になり、授業が実施されなかった場合は、大学が定める方針に従ってください。補講としてオンデマンド等による授業を行う場合には、教務課よりお知らせします。

6.5 再履修について

本科目を修得できなかった場合、再履修の際は別途費用がかかります。(実費)

LESSON ASSESSMENT GUIDELINES

(授業評価ガイドライン)

PREPARATION

To receive points, students should complete the unit Preparation online before each lesson. The majority of Preparation activities involve some form of listening comprehension, answering unit-related questions, or listing ideas for the unit. Completion of the online Preparation will help students build familiarity with the unit content and help them prepare to discuss this content in detail.

Preparation is scored between 0-12 points on 12 multiple choice questions, each worth 1 point.

E.g., 12 points: when all answers are correct.

5 points: when 5 answers are correct.

0 points: when the Preparation has not been completed, or when all answers are incorrect.

Open-ended questions are not scored. However, answering these questions will allow students to consider the topic in advance, making the in-class conversations smoother and possibly improving students' in-class performance. Students should be prepared to share their ideas and responses to these questions in class.

INTERACTION

Interaction is based on the student's initiative and participation in all lesson activities. It is determined by the students' willingness to participate in all aspects of the lesson through turn-taking, active listening, and working with others. The criteria depends on the level. Each aspect of Interaction is scored as 0, 3, or 6 points.

Beginners

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student answered questions	The student remained active when listening to others	The student contributed their ideas to class activities.
3	The student sometimes answered questions	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes contributed their ideas to class activities.
0	The student did not try to answer questions	The student was mostly passive when listening to others	The student did not contribute their ideas to class activities.

Basic

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student started conversations	The student remained active when listening to others	The student asked others what they thought
3	The student sometimes started conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes asked others what they thought
0	The student did not try to start conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not ask others what they thought

Intermediate

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student started and maintained conversations	The student remained active when listening to others	The student asked others to explain their ideas
3	The student sometimes started and maintained conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes asked others to explain their ideas
0	The student did not try to start or maintain conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not ask others to explain their ideas

Upper Intermediate

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student maintained and balanced conversations	The student remained active when listening to others	The student helped develop others' ideas, making comments and asking questions
3	The student sometimes maintained and balanced conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes helped develop others' ideas
0	The student did not try to maintain or balance conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not help develop others' ideas

Advanced

points	Turn-taking	Active listening	Working with others
6	The student led and balanced conversations	The student remained active when listening to others	The student developed others' ideas and linked them to their own
3	The student sometimes led and balanced conversations	The student was sometimes active when listening to others	The student sometimes developed others' ideas
0	The student did not try to lead or balance conversations	The student was mostly passive when listening to others	The student did not try to develop others' ideas

CAN-DO for TEST UNITS

Students will be assessed their can-do performance on Unit 5 and Unit 10. There are 4 can-do for each Test Unit, and each can-do is scored as 0, 5, 10 or 15 points. Each Test Unit consists of 4 can-do \times 15 points = 60 points. Except in the Advanced level, where each Test Unit consists of 2 can-dos, 2 can-dos \times 30 points = 60 points.

Can-do criteria

Points	Criteria
15 points	The student demonstrated a high degree of competence with the Can-do by... <ul style="list-style-type: none"> • using all aspects of the Can-do with a high degree of fluency and accuracy
10 points	The student demonstrated competence with the Can-do by... <ul style="list-style-type: none"> • using all aspects of the Can-do
5 points	The student demonstrated limited competence with the Can-do by... <ul style="list-style-type: none"> • struggling to demonstrate the Can-do • failing to demonstrate all aspects of the Can-do
0 points	The student did not demonstrate any of the aspects of the Can-do

7. 授業に関する相談・お問い合わせ

授業に関する相談・質問は、下記へお問い合わせください。

■授業に関する相談、確認

担当教員から、回答いただけます。遠慮をしないで、まずはメールで相談しましょう。

■システムの操作や、ガイドブック記載事項について

問い合わせ先: 早稲田大学アカデミックソリューション事務所

問い合わせフォーム:

<https://led.w-as.jp/tcm/faq.html>

電話: 03-5286-8030



問い合わせフォーム

※電話による対応時間: 月～金 9:00～17:30

※Tutorial Canvas の Inbox、Inquiry 機能を使用している問い合わせには対応いたしかねますのでご注意ください。

※問い合わせフォームからの回答は、翌平日以降になる場合があります。

テスト受験期間最終日当日の質問は受験期間内に回答が間に合わない可能性があります。注意してください。

Tutorial English 授業 Calendar 2025

◆春学期:2025年4月28日～7月17日

April						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
★						
27	28	29	30			
	Unit 1 [A]					

★:クラス発表日

May						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	Unit 2 [A]	16	17
18	Unit 3 [A]		Unit 4 [A]			
25	Unit 5 [A]		Unit 6 [A]			
	Unit 7 [A]		Unit 8 [A]			

June						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	Unit 9 [A]		Unit 10 [A]			
15	16	17	18	19	20	21
22	Unit 1 [B]		Unit 2 [B]			
29	Unit 3 [B]		Unit 4 [B]			
	Unit 5 [B]					

July						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	Unit 6 [B]	11	12
13	Unit 7 [B]		Unit 8 [B]			
20	Unit 9 [B]		Unit 10 [B]			
27	28	29	30	31		

◆秋学期:2025年9月25日～12月18日

September						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	★	27
28	29	30		Unit 1 [C]		
	Unit 2 [C]					

★:クラス発表日

October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	Unit 3 [C]		Unit 4 [C]			
19	Unit 5 [C]		Unit 6 [C]			
26	Unit 7 [C]		Unit 8 [C]			

November						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	Unit 9 [C]	14	15
16	Unit 10 [C]					
23	Unit 1 [D]		Unit 2 [D]			
	Unit 3 [D]		Unit 4 [D]			
30						

December						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	Unit 5 [D]		Unit 6 [D]			
14	Unit 7 [D]		Unit 8 [D]			
21	Unit 9 [D]		Unit 10 [D]			
28	29	30	31			